



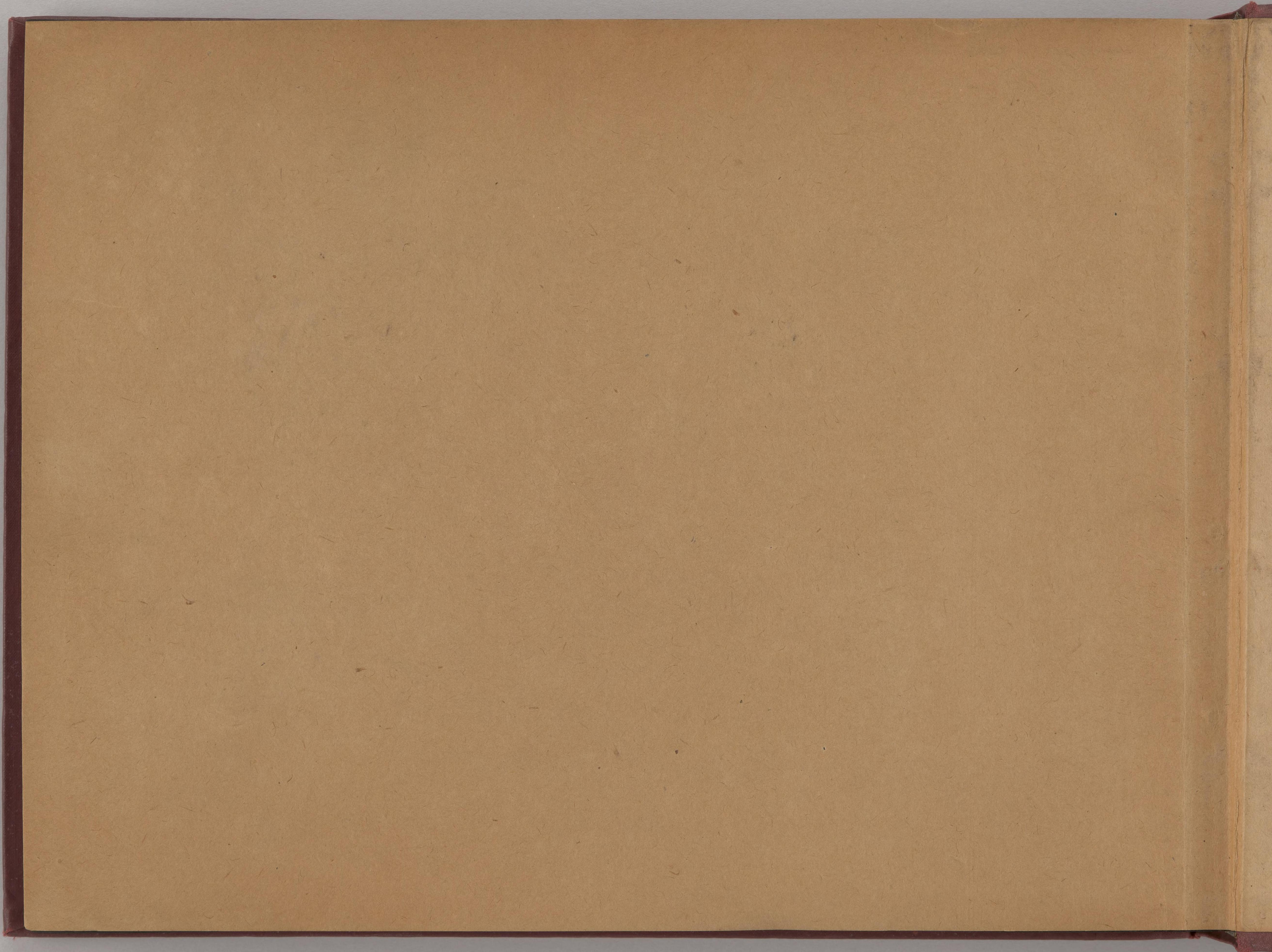
1201100594668



禁電子式複写











◎秩父宮殿下英國實業團御招待

(東京) 九年十月一日

秩父宮殿下には一日午後一時日英協會總裁の御資格で去る廿七日來朝した英國滿洲國產業視察團バーンビー團長以下六名を表町の御殿に召され妃殿下にも御臨席、クライヴ英大使及び外務省側より重光次官、桑島歐亞、來栖通商兩局長等陪席、午餐を賜はりつゝ、最近の英國事情を御聽取、御外遊當時の思出などを語らせられ御歡談遊ばされた

寫眞は

一、秩父宮邸に伺候の一行へ帝國ホテルに



◎丹那トンネルの長期試運轉

〔東京〕九年十月一日

十七年の歲月と三千五百萬圓の工費を投じ六十三名の貴き人命を犠牲として竣工した三萬五千六百フィートの丹那大トンネルは全く完成。十月中は二時間置き、十一月中は三十分置きに八輛乃至十輛を以て愈々本式の試運轉に掛りこの十二月一日の東海道本線の全通に備へることとなり一日午前七時關係官便乗の第一回列車が萬歳聲裡にトンネル通過に向つて進、無事の十七分間餘を費して函南口にその勇姿を現はした

寫眞は

大トンネル通過



◎御婦徳を讃へて

靜寛院宮奉贊大法要

一東京一九一九年十月二日

幕末の頃、尊王倒幕の混亂時代にあつて、^孝明
天皇の御皇妹和宮御十六歳にして十四代家茂
將軍に御降嫁、國難一のため、一身を犠牲
とせられ、徳川家の御一人として三十二歳^の御時
薨去遊ばされ、増上寺の菩提寺に永久に眠りま
す。靜寛院宮の大法要は二日午後増上寺に於て
故宮の御婦徳を偲び奉る奉贊會員都下女學校
婦人團體三百數十名參列の下に盛大に行はれ
る。

寫眞は

一靜寛院宮奉贊大法要



◎米穀調査特別委員會

(東京) 九年十月二日

米穀對策調査會特別委員會は二日午後一時首相官邸に開會され政府提示案八案の検討に入つたが問題の中心は依然外地米統制で山崎農相が去る總會に於て相當強力なる統制の決意を暗示した關係上内外地米委員間に相當の激論があつた

寫真は

一、米調特別委員會



新聞聯合寫眞ニュース 第一號

◎田中光顯翁日召を訪問

▲秋雨冷たい市ヶ谷刑務所に

(東京) 九年十月三日

静岡縣庵原郡岩淵の別荘に閑居してゐた九十
二翁田中光顯氏は時局の急激を黙視するに忍
びず最後の御奉公を決意して去る九月中旬入
京し青山北町五丁目の令息遜伯方に滞在、朝
野各方面の人々と重要なる會談を重ねてゐた
が三日午前十時半血盟團事件の辯護人たる奥
山、林兩辯護士及び木島特別辯護人に伴はれ
冷たい秋雨のなかを突如市ヶ谷刑務所に井上
日召を訪問した

寫眞は

一、自邸を出づる光顯翁と一行



◎齋藤大使を激勵する會

(東京) 九年十月三日

世界を明るくしようといふモットーの下に創立された國際日本協會では來るべき一九三五六年の危機線を控へ我が對外政策の重要使命を携へて歸任する齋藤大使を大いに激勵してわが國策の本義を世界に傳へて貰ひたいと云ふ意味で秋雨の三日午前十一時半から上野の精養軒で「齋藤駐米大使を激勵する會」を開催した、集る者各政黨代議士、實業家、大學教授、新聞雜誌關係者等約三百名、松本君平氏の開辭に次いで帝大教授神川彦松、三宅雪嶺、杉森幸次郎の諸氏が各自の立場から現下の非常時局を論じて齋藤大使を激勵し續いて齋藤大使が起つて國際平和に於ける我が國の立場を論じ大いに皇國の爲め且つ世界平和のために努力する旨を述べ午饗を共にし盛會裡に午后三時散會した

寫眞は
一、寫上の齋藤大使



◎米國人道から記念の贈物

―齋藤大使を通じて―

(東京) 九月十日四日

米國人道協會は昨年十二月二十三日わが皇太子殿下の御降誕を慶祝するため日本人道會に對して記念品として「動物の扱ひ方」といふ日本文の美麗な小冊子一千部を贈ることになりこれをわが齋藤大使に依頼した。同大使は世界動物愛護デに當る四日午前十一時外務省秘書官室で日本人道會名譽副會長一色虎兒氏にこれを手交した。人道會では大いによろこんで東京市内の小學校その他關係方面に寄附したが同冊子はあらゆる動物の特性や飼育法を書いた頗る有意義なものである。

寫眞は

一。授與式と記念の小冊子







This Special Edition has been
Donated by the American
Humane Association on the
Auspicious Occasion of the
Birth of the Crown Prince
of Japan: December,
23rd, 1933.

皇太子御誕生記念版

重
が
物
の
扱
ひ
方
(皇太子御誕生記念版) 日本人道會



MCMXXXIV

いぬ	ねこ	やぎ	ふた	うま	さる
うさぎ	りす	にわとり	あひる		
もるもつと	しちめんちやう	かめ	むし	ほたる	

日本人道會

新聞聯合寫眞ニュース 第一號

◎廣田外相がモデルに

(東京) 九年十月五日

帝展第二部洋畫鑑査組の上野山清貢畫伯は我が非常時外交の大立物を描きたいとの念願から廣田外相の秘書裕で畫伯の友人伊藤氏を通じて外相に願ふと万事OK。上野山畫伯は九月十四日から毎朝早く霞ヶ關の外相官邸に通つては應接室に据ゑた八十號のカンパスに繪筆をふるつてゐる。廣田外相も出勤前の忙しい二三十分をさいて官邸のソファに椅子洋服姿でキチンと前に手を組んだまゝ熱心なモデル振り。これに感激した畫伯も文字通り煙によりを掛けて八分通り描き上げたが来る十日に完成。同日帝展に搬入する筈

寫眞は

一、モデルになつた廣田外相と上野山畫伯



◎輝く發明家の日―盛大な表彰式

（東京）九年十月五日

特許法施行五十年記念祝賀並に表彰式は五日
午後零時三十分より日比谷公會堂で舉行。全
國各地より一千餘の出席者あり海軍樂隊の
君々代奏樂に次いで發明協會長阪谷男の式辭
後初代特許局長高橋景清翁に胸像を贈呈。高
橋翁の挨拶に續いて特許法制定及び發明發達
に盡力した中松盛雄氏他三十六氏の功勞表彰
をなし金一封銀盃花瓶を贈呈。岡田首相其他
來賓の祝辭あり一旦式を閉じ二時すぎより記
念講演に移つた

寫眞は

一、阪谷男より高橋翁へ胸像目錄贈呈。後方は
翁の胸像



◎首相北鐵遭難談に感激

「藤澤、内田兩氏を招待」

（東京）九年十月六日

岡田首相は六日正午官邸に去る八月卅日ハル
ピン發新京行國際列車中で匪賊の襲撃を受け
拉致され陸戦隊に救はれて歸つた内閣資源局
技師藤澤威雄、同事務官内田源兵衛の兩氏を
招き午餐を共にしつつ遭難談を聞いたが一行
中の村上久米太郎氏が監視匪賊の突きつけた
銃を睨みながら「日本人はこゝだ」と叫んで
匪賊の銃撃をうけ遂に全部十二名が救出され
るに至つた義侠の物語に首相は「それこそ世
界に誇る大和魂の發露だ」と非常に感激し益
をあげて兩氏の健康を祝した

寫眞は

一（向つて左から）内田氏、首相、藤澤氏



新聞聯合寫真ニュース 第五號

◎風雲急を告ぐる

最後の委員會

(東京) 九年十月六日

最後の市電調停委員會は六日午前十一時四十分から警視廳會議室に於て緊張裡に開議。この日吉田委員長は會議に先立つて石原調停課長と會見種々懇談を重ね、午前十一時市側東交側も打揃つたのでいよゝゝ最後の協議に入つた

寫眞は

一、危機をはらむ最後の調停委員會



◎秋雨の帝都へ

蒙古のお客様

(東京) 九年十月七日

蒙古民族を代表して日本視察のため來朝した
滿洲國興安總署長官齊默特色木丕勒氏始め一
行十一名は六日午後九時半東京驛着燕號で東
上、驛頭には蒙古留日同鄉會の廿名、陸柱會
の廿名ほか陸軍關係その他各團體、一般出迎
人等で埋められた、このなかに黒い支那服の
一行は愛嬌を振り撒き乍ら挨拶、直ちに自動
車で山王ホテルへ向つた

寫眞は 東京驛着の一行



新聞聯合

寫眞ニュース

第二號

◎首相が敬慕する

志士左内の墓前に参拜

岡田首相は七日午後一時半、追水秘書官を帶同
青山齋場に執行之故貴族院議員男爵斯波忠三
郎氏の告別式に参列、焼香の後、東京市千住小塚
原に赴きかねて首相が敬慕する勤王の志士で
同郷の偉人たる橋本左内の命日祭に臨み、靈前
にその冥服を祈り、午後三時歸邸した。

寫眞は橋本左内の墓前に焼香の岡田總理



新聞聯合 海外寫眞ニュース 十月八日

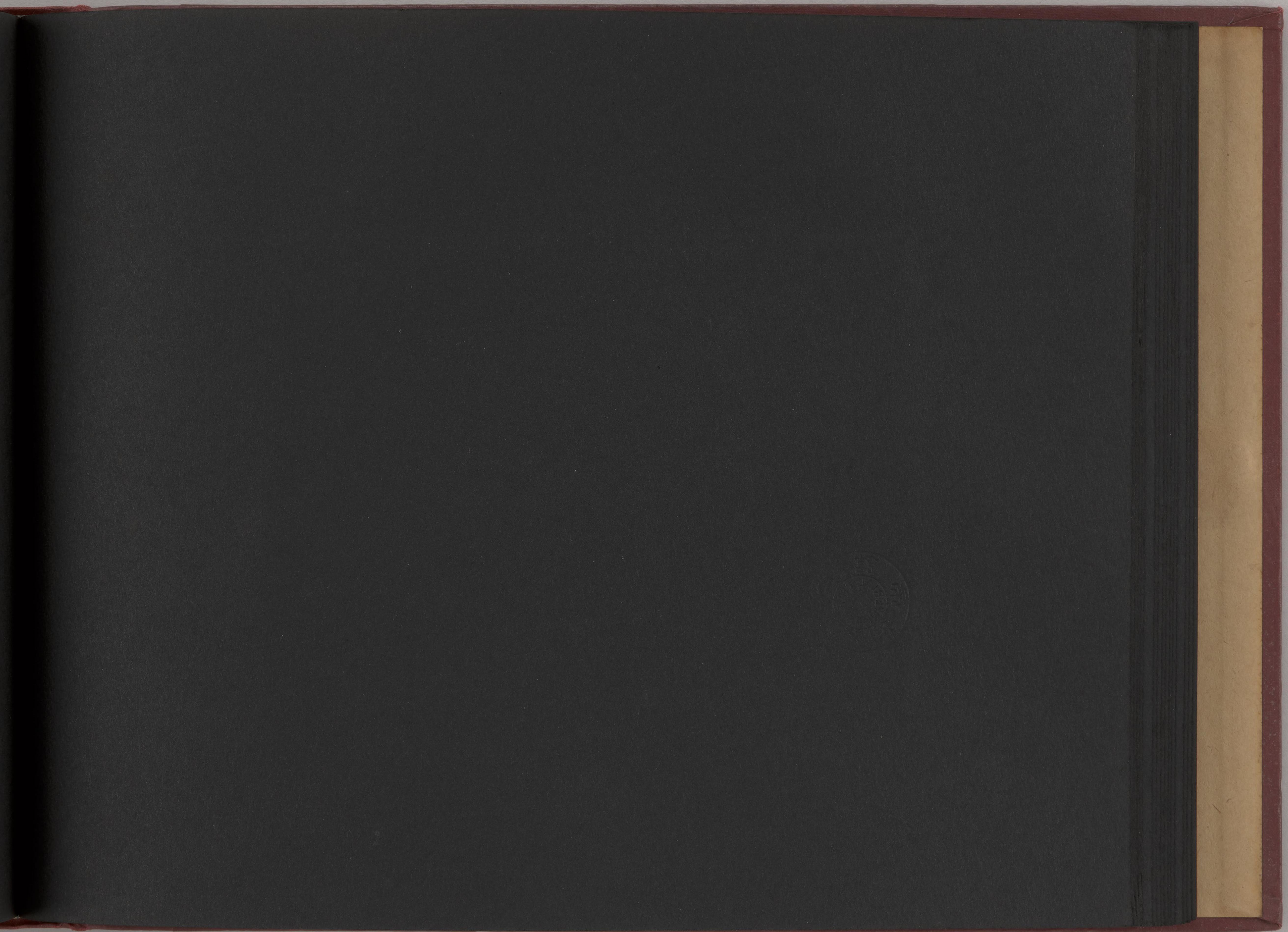
◎英國にしてこのフアツシヨ運動

―最初の黒シャツ示威運動―

(ロンドン) 發聯合

歐洲諸國を吹きまくるフアツシヨの嵐に捲き込まれたのかこの世界の保守國家英國にもサ・オスワルド・モズレイ氏を黨首とするフアツシヨ運動黒シャツ運動が國運の萎縮に應じて日ましに勢力を増大してゐる、寫眞は去る九月九日ロンドン・ハイド・パークで行はれた黒シャツ隊初の野外示威運動の盛観で(一)女子黒シャツ隊を檢閲の黨首モズレイ氏と(二)數萬の參會者で混亂した會場ハイド・パーク







◎海相三大使を招待送別會

一軍縮對策を中心に懇談一

(東京) 九年十月九日

大角海相は九日午后零時三十分より霞ヶ關官邸に近く歸任の途に付く齋藤駐米、佐藤駐佛兩大使及び外相代理として歐米各國へ派遣される特使吉田茂の三氏並に重光次官、東郷歐亞局長を招待、海軍側より大角海相を始め長谷川次官、津田軍令部第三部長、吉田軍務局長、野田普及部委員長、岩村高級副官等出席午餐を共にし、軍縮會議對策を中心として隔意なき懇談を遂げた

寫眞は

一(向つて左から) 吉田大使、大角海相、
佐藤、齋藤兩大使、重光次官



新聞聯合 寫眞ニュース第六編

◎趙欣伯氏園遊會

Ⅱ憲法調査書完成を祝し

(東京) 九年十月九日

滿洲國立法院院長趙欣伯氏は、この程百二十五條からなる憲法調査書が完成したのを機會に連日の霖雨霽れ久し振りに清澄の秋空を見せた九日午後二時から芝罘高輪甲町七渡部昭伯邸庭園に滿洲憲法調査會及警廳廳員係者約二百名を招待し園遊會を催したが秋雨から解放された人々は頗る満足した上午後五時盛會程に終了した

寫眞は

喜びの趙氏と憲法調査書



寫眞 ニユース 第一號ノ二

寫眞は

一、半旗を掲げた佛大使館

二、悲報に驚愕のピラ大使

三、不慮の崩御を遂げらる小丸アレキ

サトル一壺墜下



◎ユーゴー國王マルセーユにて

狙撃され崩御遊ばさる

一マルセーユ發聯合至急報一東京九年十月十日
ユーゴー・スラヴィヤ國王アレキサンダー一世陛下は九日マルセーニ御到着、フランス外相始め官民歡迎程に御行列が市の中央デ・ラ・ブルゼに差し掛つた際兇漢が突如國王目掛けて發砲、國王は身に數彈を受け遂に崩御、佛外相バルツィ氏、ジヨルジニ將軍、侍從武官長デイミトリウイチ將軍も遂に絶命した、公報に接した駐日佛大使館では朝來ベルギー大使其他の弔問客引きも切らず恰かも十日は國祭日であつたが大使館では半旗を掲げて遙かに弔意を表した



新聞聯合寫眞ニュース 第一號

◎蒙古王等謁見仰付らる

(東京) 九年十月十一日

去る六日入京の滿洲國興安省總長齋默特色木丕勒氏始め同省東方省長額勒春氏、同省北分省長凌陞氏等に對し長き遊りより謁見仰付らる由仰出されたので一行は丁滿洲國公使に伴され十一日午前十時参内、天皇陛下に謁見有難き御腕を平して退下した

寫眞は

一、参内の一行 (於公使館)



◎ 齋藤駐米大使歸任

(東京) 九年十月十一日

豫ねて對米外交方針、軍縮對策等につき重大打合せのため歸朝中の齋藤駐米大使は諸般の打合せも完了したのでいよいよ十一日午後零時半夫人令嬢同伴東京驛發臨時列車で横濱に向つた、驛頭には大角海相、廣田外相、佐藤大使以下外務關係者多數の見送りあり同三時横濱出帆の秩父丸で渡米の途についた

寫眞は

一、送りの大角海相と挨拶の齋藤大使



◎萬國赤十字少年少女展開く

(東京) 九年十月十二日

萬國赤十字國際會議の開催を契機として十三日から開かれる赤十字少年少女作品國際展覽會の内見が十二日から行はれた。世界四十五ヶ國の可憐な少年少女達が平和の天使として心を籠めて製作した幾多の貴い作品は觀者の心を打たすにはあない。中にはポーランドから送られたテールブル・クロースなどは之れを賣つたお金で關西風善地へ寄贈して下さいとの手紙を添へたものなど注目を引いた

寫眞は

一、飾り付を急ぐ展覽會



◎ 閑院宮殿下の台臨を仰ぎ
往時を偲ぶ老將兵の集ひ

（習志野）一九年十月十二日

非常時國軍の參謀總長として我が陸軍を一身に擔はせられ本春古稀の御壽齡を迎へさせられて益々軍務に御精勵遊ばされる閑院元帥宮殿下が過る日露戦沙河會戦の本溪湖の激戦に當時の騎兵第二旅團長として勇戦奮闘されてより既に三十歳の星霜は移り十二日はその三十周年記念日に當るので當時殿下の麾下にあつて奮戦した生き残り將本四百五十名を以て組織する本溪湖會では懐かしの銜茂地秋草亂れ咲く習志野偕行社に殿下の台臨を仰いで記念の大會を開催した

寫眞は

一、殿下を御中心に記念撮影



◎御徳を慕ひ奉る舊都下の集ひ
―閑騎會から馬像獻上―

(東京) 九年十月十三日

閑院參謀總長宮殿下が未だ御少壯の頃一少佐として騎兵第一聯隊長に在した當時御訓育を賜つた同隊出身の老兵達よりなる「閑騎會」は殿下の御古稀を奉祝する爲會員であり馬像製作の第一人者後藤省吾氏に依頼製作中であつたブロンズの馬像が殿下の當時の御愛馬クローカス號をモデルにして此の^程見事に完成したので植田朝鮮軍司令官を始め當時の一兵卒に至る全國八百餘名の會員に通知を發し十三日午后一時中嶋少將、瀧澤市議始め全國代表約二百名が清水谷公園に集合、それより御殿に伺候祝詞を言上して馬像を獻上した
寫眞は

一、伺候の一行



◎美術の秋

―開會愈々近づく―

ボ一九一九年十月十四日

六日より愈々開會の帝展では各部とも
発表も修了したので愈々飾付に取りか
つつあつたが開會を明後日に飾附も出来
美術の秋もいよいよ待望のフアンもどつと
しよせることとせう
眞は

一、彫刻出来た彫刻部



◎常陸丸殉難記念碑竣工

十五日午夕淵で除幕式

〔東京〕九年十月十三日

我日露戦史の巻頭を飾る常陸丸殉難記念碑の
建立計畫は昭和二年頃關係各方面間に擡げら
れたことがあるが種々の事情のため一時頓挫
してゐたところ滿洲事變を契機として陸海軍
及篤志家の間に計畫再擧がはかられ清水中將
を委員長として奔走の結果六月以來九段下牛
ヶ淵公園内に記念碑を建立中であつたがこの
程完成したので來る十五日午後二時林陸相、
荒木大將以下陸海軍及各關係方面多數參會の
下に盛大なる除幕式が行はれることとなつた
寫眞は

一 近く除幕式を擧ぐる記念碑



新聞聯合 寫真ニュース 第四號

◎維新の元勳井上侯の

傳記完成報告祭

(東京) 九年十月十四日

星霜七ヶ年を費して維新の元勳井上馨侯の傳記完成報告祭は十四日午前十時より麻布區筈井町長谷寺の同侯墓前で傳記編纂委員長阪谷芳郎男以下有賀長文、益田考男他關係者多數參會して嚴かに執行された

一、寫眞は

墓前の報告祭



新聞聯合寫眞ニニニニ

◎風水害地内務部長會議

(東京) 九年十月十五日

風水害對策協議のため招集された大阪京都
二府及び關係十八縣の内務部長會議は十五日
午前九時より農相官邸に開會、被害狀況を聽
取すると共にこれが對策につき種々協議した。

寫眞は

一、山崎農相の挨拶



◎常陸丸殉難記念碑除幕式

（東京）一九一九年十月十五日

常陸丸記念碑は九段牛ヶ淵に建立中のところ
十五日午後一時半より盛大な除幕式を行つた
建設費二萬圓、高さ地上四十二尺、重量一萬
貫、碑石の高さ三十九尺、幅九尺の仙臺石で
表面の「常陸丸殉難記念碑」の雄渾な文字は
故東郷元帥の筆に成り撰文は荒木大將^〇

寫眞は

一、常陸丸記念碑除幕式



◎皇后陛下の行啓を仰ぎ

世界代表も参列して
赤十字總會―

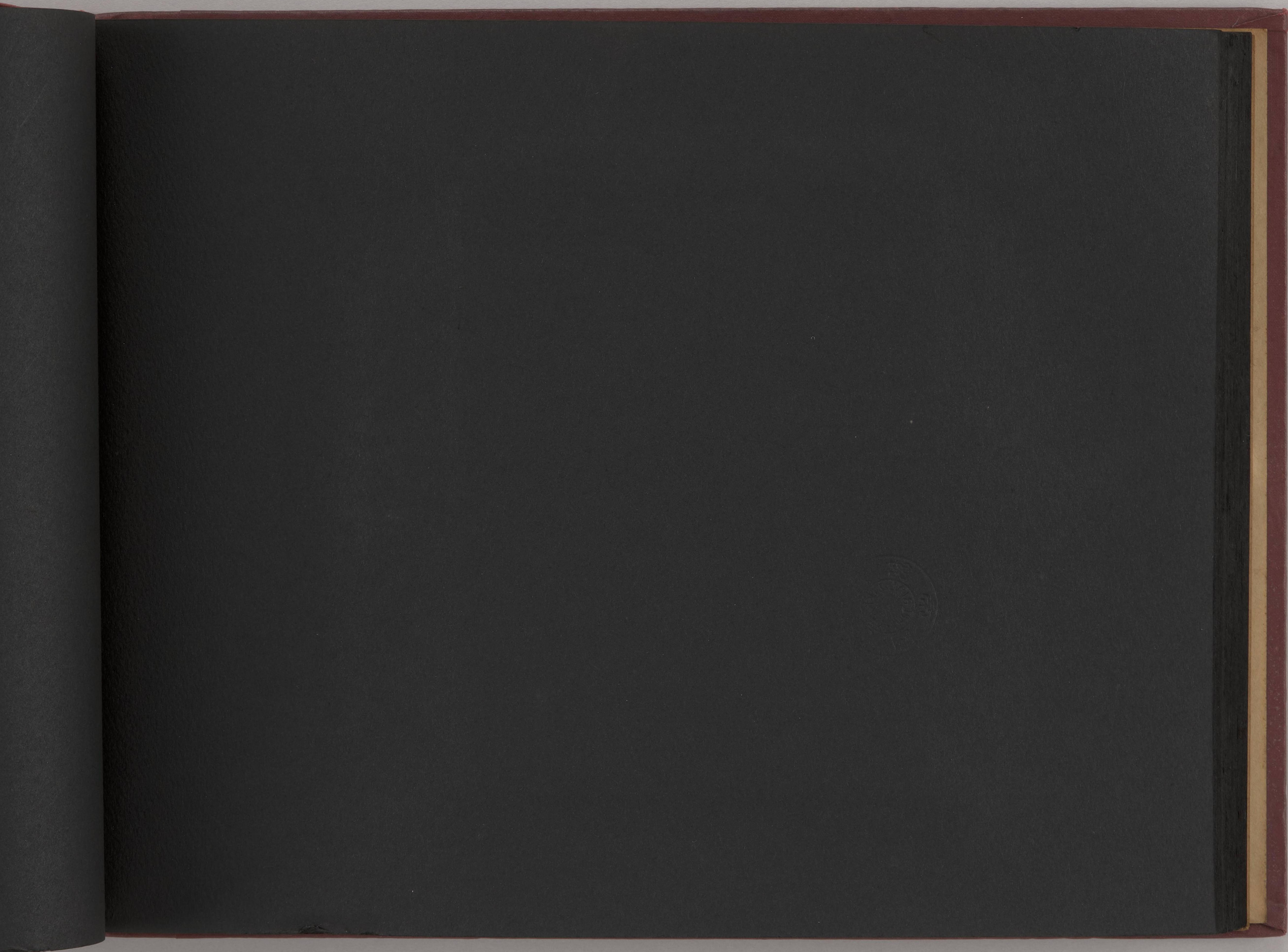
(東京) 九年十月十六日

日本赤十字社では世界六十四ヶ國代表五百餘名を集めて東洋最初の國際會議を開くに先立ち十六日青山憲法記念館構内に皇后陛下の行啓を仰ぎ來朝中の各國代表を招待、一萬餘の社員参列して第四十二回通常總會を華々しく舉行した

寫眞は

- 一、式場に臨御の皇后陛下
- 一、閑院總裁宮の奉答







新聞聯合 寫真ニュース第二號

◎皇祖祭並に産業祭

(東京) 九年十月十七日

全國神職會主催「皇祖祭並に産業祭」は十七日午後一時より澁谷の同會に於いて舉行、恰も十七日は皇祖天照大神の御祭禮日に當るのて敬神崇祖と併せて皇祖の下し給へる齋庭の稻穂の御神勅を奉戴しようと云ふ趣旨に依るもので小笠原長生子、佐藤清勝中將等の記念講演があつた

寫眞は

二本村大佐の御神勅



◎烈女政岡の銅像完成

目黒正覺寺で除幕式

(東京) 九年十月十七日

彫塑界の權威北村西望、建畠大夢、新田勝太郎三氏の手で豫ねて製作中の「烈女政岡」本名三澤初子の銅像は目黒正覺寺境内に据付けを終へ十七日午後一時から政岡の至誠をしたふ人々の手によつてその臨終の地に於いて盛大な除幕式を行つた

寫眞は

一、伊達伯令嬢登美子さん(五歳)の除幕



◎新任ベルシヤ公使信任狀捧呈

一東京一九一九年十月十八日

今回着任の駐日ベルシヤ公使ミルザ・バゲー
ルー・ハーン・アジミ氏は十八日信任狀捧呈の
ため大久保武官の迎引を受け午前十時参内、
同三十分鳳凰の間に於て廣田外相侍立の下に
天皇陛下に謁見迎付られ恭しく信任狀を捧呈
終つて夫人同伴桐間に進み皇后陛下に謁見仰
付られ十一時すぎ宮中を退出した

寫眞は

一、参内のベルシヤ公使夫妻



◎靖國神社神門竣成式

(東京) 九年十月十八日

九段靖國神社の社頭を飾る神門がこの程竣成十八日午前十時から加茂宮司司祭の下に盛大な竣成式を行つた、新門は單層、神明作り、高さ五十五尺五寸、建坪四十坪、檜作り、直徑三尺五寸の丸柱十二本、左右に玉垣ををらせた堂々たる神門である

寫真は

一、神門竣成式

1910年10月25日



聯合寫眞ニユリス 第一號

◎天晴れ近代陸軍通

―貴族院議員技術本部見學―

(東京) 九年十月十九日

近代國防思想の普及に熱心な陸軍では十九日
貴族院のお歴々を陸軍技術本部に全國實業
學校の先生達を戸山學校に招待した貴院側は
青木子、溝口伯、小笠原伯、徳川侯等五十名
お仲間の第一旅團長前田利爲侯等と共に午前
九時半技術本部へ來て門外不出の新兵器を二
時間餘り見學、天晴れ近代陸軍通となつた
寫眞は

一、技術本部見學の一行

1888



◎ 閑院總裁宮午餐會

Ⅱ 各國博愛の使節御招待

一 東京一九一九年十月十九日

閑院赤十字總裁宮殿下には二十日世界五十七ヶ國代表を集めて開かるべき第十五回赤十字國際會議を前に十九日午后零時三十分から各國赤十字聯盟代表三百五十名を帝國ホテルに御招待午餐會を催された、世界博愛の使節赤十字國際委員會長フアール氏夫妻、聯盟理事長ペイン判事、同事務總長スイフト氏夫妻日本赤十字社長徳川家達公等が晴れの禮服に身を固めて續々參會定刻總裁宮殿下には徳川社長の御案内で赤十字旗を飾つた宴會場のメーソントーブルに着席和やかな國際的雰圍氣のうち午餐を共にし午後一時半頃散會した

午后は
一、帝國ホテルにて

1888



◎閑院宮台臨の下に
輝く赤十字會議開會式

(東京) 九年十月廿日 一地の上に平和を、人類に福祉を、一國境を超えて至高至善の目的に進む全世界愛の使節を迎へて開かれる第十五回赤十字國際會議は平日午前十時芝の赤十字社本館に於て總務閑院宮殿下の台臨を仰ぎ盛大に舉行された、開會式は午前十時半議長徳川公の開會の辭、國際委員會首席フアール大佐、常置委員會長ノルフ教授の答辭あり總裁宮には満場起立最敬禮俚に皇后陛下より賜はつた令旨を捧讀遊ばされ理事長ベイン判事、副議長ドラウト中佐の奉答辭あり正午散會した

寫眞は

一、閑院總裁宮の令旨捧讀

1888



新聞聯合寫眞ニュース 第一一二號

◎兵隊さんの珍しい對抗競技

陸軍戸山學校で舉行

(東京) 九年十月二十日

近衛第一兩師團では在京各部隊の下士官兵を總動員して二十日午前八時半から戸山學校グラウンドで陸軍最初のオール東京部隊對抗運動競技大會を開催、各部隊の隊長、大隊長を團長とする應援團に護られて軍裝脱めし、い兵隊選手が乗り込み、一〇〇米競走、手榴彈投擲、千五百米競争、器材障害通過、投球戦、幅跳、障害通過、不齋地中繼競技、斥候競技等を行つた

寫眞は

一、障 碍 競 争

二、架 橋 競 争

1863
1864
1865
1866
1867
1868
1869
1870
1871
1872
1873
1874
1875
1876
1877
1878
1879
1880
1881
1882
1883
1884
1885
1886
1887
1888
1889
1890
1891
1892
1893
1894
1895
1896
1897
1898
1899
1900



新聞聯合

スケッチ寫眞

第二號

◎軍用犬競技訓練大會

(東京) 九年十月廿一日

滿洲事變に偉勳をたてた「ものはぬ勇士」
軍用犬をたへる競技訓練大會が帝國軍用犬
協會主催で廿一日午前八時から陸軍戸山學校
校庭で催された、參加選手は陸軍で自慢のシ
エバード種數十頭で人間をこのけの妙技を見
せた

寫眞は

一、軍用犬の障害跳躍

1885
1886
1887
1888
1889
1890
1891
1892
1893
1894
1895
1896
1897
1898
1899
1900



◎秋晴れをお揃ひで

三内親王様動物園お成

(東京) 九年十月二十一日

照宮、孝宮、順宮三内親王様には廿一日の日曜日
に折柄の秋晴れに御久し振りの御揃ひにて藤井御養育掛長、野口事務官、塘、伊知地大迫三御養育掛等が御供申上げ自動車にて午前八時十五分吳竹寮御發、上野公園動物園に成らせられた、岡田園長の御案内にて豫ねておなじみであらせられる大象や麒麟などを始め園内をおひろひにて御巡覽あらせられたがたわむれる猿群や珍らしい動物等特に御興深く御供の者に種々御質問あらせられるなど御熱心に御覽、園長から差上げた動物繪葉書などをお土産に同十時半同所御發宮城に御歸還になつた
寫眞は
一向つて左から孝宮、照宮、順宮各内親王殿下



◎英國實業團謁見

(東京) 九年十月廿二日 滿洲國視察を終へて廿一日再び入京の英國實業觀察團バーンビー卿一行はクライヴ大使同伴廿二日午前十時參内鳳凰の間に於て天皇陛下に謁見仰付られ日高御用掛の通譯で來朝の挨拶を言上、敬意を表し奉つたが陛下には日英親善に關し懇ろなる御言葉あり同十時半頃一同感激して宮城を退下した

寫眞は

一、參内の一行(向つて左から)ロクツク、セグリマン、バーンビー卿、ビゴツの諸氏
於英國大使館

1914



◎靖國神社秋季例大祭

―畏き邊りより勅使參向―

〔東京〕一九一九年十月二十三日

廿三日は靖國神社秋季例大祭、九段の同社では午前八時から陸海軍兩大臣以下係官參列賀茂宮司以下奉仕して嚴かに御祭典を執行、同九時には畏き邊りより勅使として大凱掌典參向、次いで秩父宮、閑院參謀總長宮兩殿下はじめ皇族方の御拜禮があつた、一方早朝から東京各軍隊が拜禮一般市民の參詣者も相踵ぎ境内には例によつて見世物が客を呼び軍國秋に相應しい賑ひであつた

寫眞は

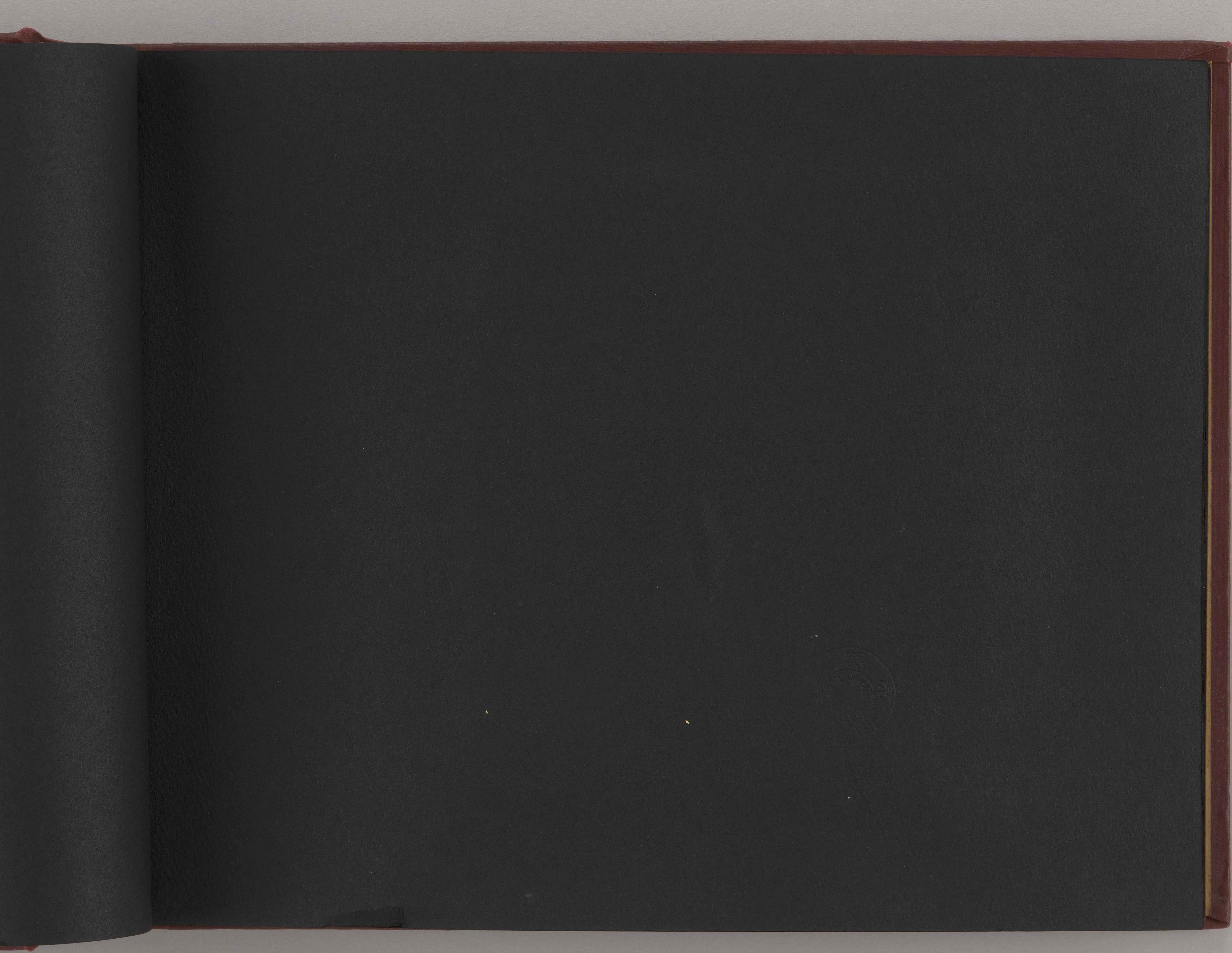
一、勅使參向

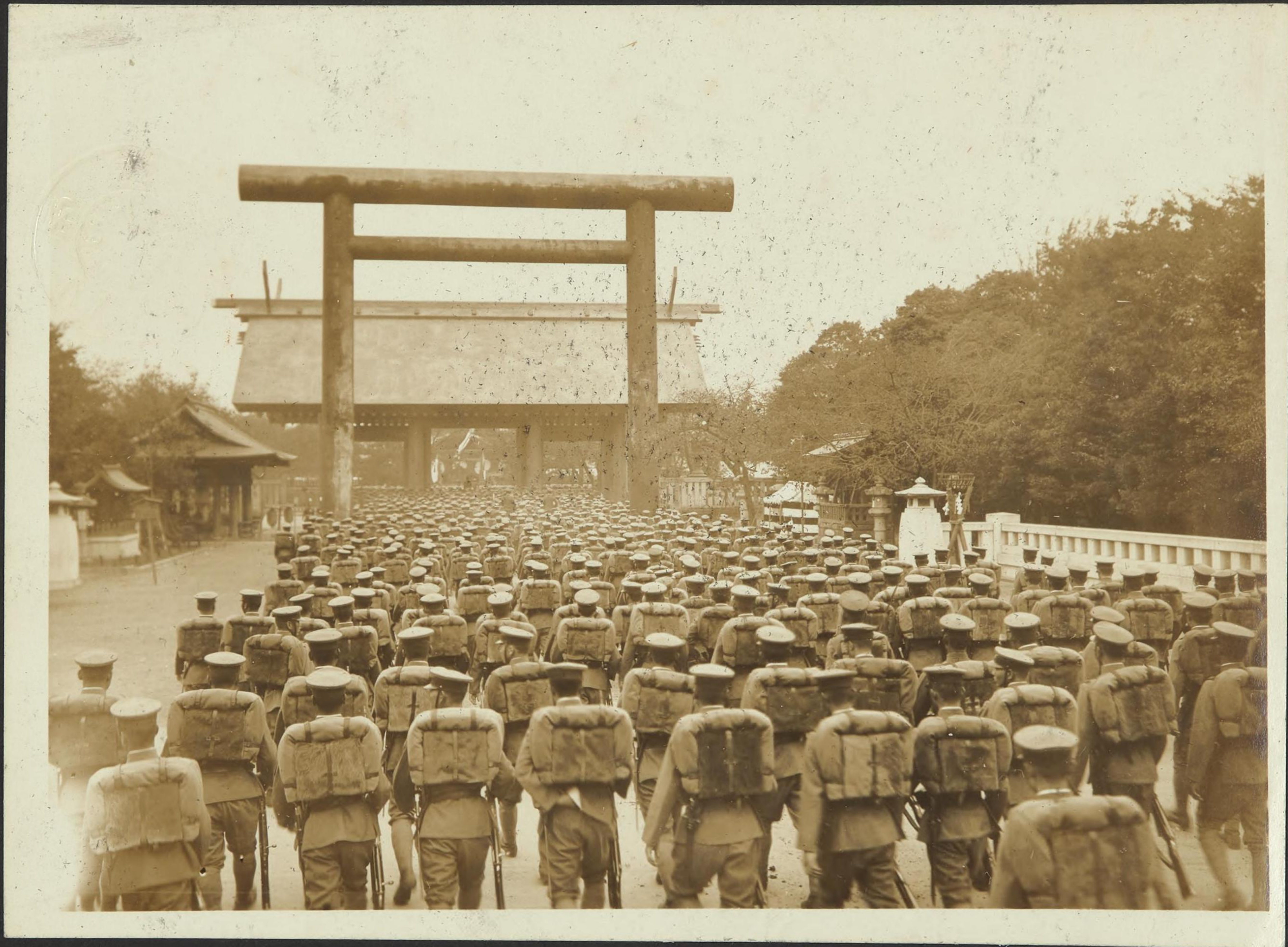
一、秩父宮、閑院宮御拜禮

一、軍隊の參拜

Small decorative label or stamp on the left edge of the album page.







◎大演習に鐵道大輸送計畫

廿二日お召列車の試運轉

(東京) 九年十月廿三日

十一月十一日から三日間群馬地方で行はれる陸軍特別大演習に際し動員される軍隊、團體、拜觀者の輸送は總延人員二百萬人を突破する大輸送で鐵道省ではこの大輸送計畫を樹て高崎線、兩毛線に五十本の臨時を増發することになつた。この大演習には大元帥陛下が十日上野驛發、前橋市に行幸遊ばされるので鐵道省では廿二日午前九時四十五分上野驛發でお召車の試運轉を行つた

寫眞は

一、お召車の試運轉

Small decorative label with illegible text and a red stamp.



新聞聯合寫眞ニュース（番外）

◎赤十字代表歌舞伎見物

（東京）九年十月二十三日夜

赤十字國際會議出席の各國代表團は二十三日
午後九時から歌舞伎座の觀劇會に臨んだ。一
行は中幕「鬼」法眼三略卷「がすむとドヤ々
々樂屋裏を訪れ戀車の「皆編姫」の美しさに
見とれ奴智恵内の菊五郎等と日本演劇につい
て問答をした。梅幸の「お夏狂亂」にはすつ
かり魅せられ「詩的見地から見ても劇の構成
から見ても「お夏狂亂」は世界一だ」と絶讚し
乍ら二番目の「雪の渡り鳥」の打出しまで身
じろぎもせず見物した

寫眞は

「舞臺裏の一行

Small decorative label or stamp in the top left corner of the album page.



◎情趣豊かな民族博物館

近く開かれる郷土資料陳列所

(東京) 九年十月二十四日

大日本聯合青年團では今年が滿十周年に當るのでその記念事業として恒久的な郷土資料陳列所を計畫、來月二日を期して開所すべく外苑青年館地階大ホールに日夜準備を急いでゐる、これは將來民族博物館に發展擴張さるべきもので主として各地方農村の歴史的發展過程を示す種々な資料、東北地方の「ドザ」、簗、菅笠其他二十數種を出陳することとなつてゐる

寫真は

一、近く開かれる郷土資料展